

輝け！シン尾花沢中

ゆくてののぞみ 語りつつ 自律をめざす わが学園

タイトルデザイン
教育指導室
伊藤瑞稀さん

令和7・8年度の「目指す尾花沢中学校像」

変化が激しく先行きが不透明で予測困難な現代は、「VUCAの時代」ともいわれます。このような時代において、持続可能でウェルビーイングな尾花沢の未来を実現するために、自ら課題を設定し、仲間と協働で、課題を解決していく力が求められています。

V (Volatility : 変動性)
U (Uncertainty : 不確実性)
C (Complexity : 複雑性)
A (Ambiguity : 曖昧性)

また、尾花沢中学校は、令和8年度に福原中学校と統合し、市内で唯一の中学校となります。福原中学校を迎え入れる心構えと市内1中学校になる心構えが必要です。

これらのことを踏まえ、今年度と来年度の2年間を通した「目指す尾花沢中学校像」を

③ 尾花沢を背負って立つ学校

～①自分たちで創り上げる②シン尾花沢中～

と決めました。以下、説明させていただきます。

①自分たちで創り上げる

体育館の背面に「一人一人が主人公！—気づき、考え、実行する生徒会—」のスローガンが掲げられています。



学校の主役は生徒です。生徒の皆さんには「自分自身の、そして仲間の幸せのために、自分たちで学校生活を創り上げていく」という気概を持って学校生活を送ってほしいと思っています。

②シン尾花沢中

場面に応じて、右の黒板のようにいろいろな思いを込めることができるように、シンはあえてカタカナにしています。場面に応じて、使い分けることができれば、と思っています。

例えば…

「誠実」＝信、心、慎、親

「学習」＝真、進、新、伸

「活力」＝新、伸

③尾花沢を背負って立つ

尾花沢市は「ふるさと愛の醸成」を目標に掲げています。

生徒たちは、これまでたくさんの方々に支えられてきました。尾花沢中学生は、地域の方が支えてくださることへの感謝はもちろん、地域に貢献するとともに地域の方々に活力を与えられる人材になることを目指します。

【文責：校長 工藤雅史】